

富士山麓ロゲイニング 2016 プログラム
(社)日本オリエンテーリング協会 Navigation Games 2016 シリーズ第 9 戦



共催: NPO 法人 Mnop・静岡県立朝霧野外活動センター 協力: TEAM 阿闍梨・O-Support
コースプラン: 村越真・小泉成行

■ ご挨拶 (イベントディレクター 村越真)

第三回の富士山麓ロゲイニングまで後2週間となりました。今回は 12 時間が 71 組、6 時間 28 組のお申し込みをいただきました。総参加者数は 235 人です。ありがとうございました。この中には、前回優勝の招待チームに加え、この夏ニュージーランドで開催するロゲイニング世界選手権の出場チーム、世界的なアドベンチャーレースに参加するチームもご招待しています。トップ選手から気軽にアウトドアで活動したい方まで、同じフィールドお楽しみいただければと思います。

過去2回の開催を踏まえ、今年はエリアを北側に伸ばしました。天子が岳の稜線もたっぷり含まれています。全体として、南部にはない朝霧の雄大さがたっぷり味わっていただけます。ポイントのうち 70%強はフォトポイントですが、約 30%にフラッグを利用しています。フォトポイントの中にもナビゲーションスキルを要求するものを用意しました。富士山麓ロゲイニングらしいアドベンチャーをお楽しみください。

■ 招待選手

TEAM&Club 阿闍梨 W(田島利佳(松元恭子))、チーム Cloud Nine(飯島 誠、迫田 順、(村田 真紀))、風神雷神(鈴木 真、武井 正幸、杉田 明日香)

前回優勝: チーム TK(レッドフォード賀代子、伊藤知子)、山とヤギ(柳下 大、(山田 慎也))、チームそれでも走るか 100 マイル(大澤 元成、末岡佑太)、

■ 大会情報

開催日: 2016 年 5 月 28 日(土) 会場: 静岡県立朝霧野外活動センター(富士宮市根原 1)

方式: 12 時間または 6 時間のロゲイニング。2~4 人 1 チーム。

クラス: 12 時間「男子」「女子」「混合」、6 時間「男子」「女子」「混合」「家族」

■ スケジュール(予定。細部は変更の可能性があります)

- ▶ 5月27日(金)
 - 19:00 受付開始(はやめ到着の場合ロビーにてお待ちいただけます)
 - 22:00 受付終了
- ▶ 5月28日(土)
 - 6:00 受付開始
 - 6:30 宿泊者向け朝食
 - 8:10 12時間競技説明(2階視聴覚室)
 - 8:20 12時間地図配布
 - 9:00 12時間スタート
 - 9:15 6時間の部、競技説明(2階視聴覚室)
 - 9:30 6時間の部、地図配布
 - 10:00 6時間の部スタート
 - 16:00 6時間の部ゴール制限時刻
 - 16:00 夕食提供開始
 - 19:00 一部エリアのCPクローズ
 - 21:00 12時間の部ゴール制限時刻
 - 22:00 表彰式・交流会

■ 会場への交通(最終ページの地図もご参照ください)

東名高速富士ICでおりて西富士道路・国道139号を北上、約30km、40分。新東名新富士ICからは同約25km、35分。

朝霧野外活動センターのウェブ(<http://asagiri.camping.or.jp/profile.html>)

■ チーム票

受付にてご提出ください。以下のチーム票にご記入いただきお持ちください。

チーム名							チーム No.	
クラス (○をつける)	12時間 男子	12時間 女子	12時間 混合	6時間 男子	6時間 女子	6時間 混合	6時間 家族	
携帯番号(競技中連絡の取れる番号)								
メンバー氏名				性別		年齢		
(代表者)				男 女		歳		
				男 女		歳		
				男 女		歳		
				男 女		歳		

■ 競技について

▶ 概要

ロゲイニングは競技会場となる山野に設置されたチェックポイントを制限時間内にできるだけ多く回り、その得点を競うアウトドアスポーツです。チェックポイントとその得点は地図上に示されています。どのポイントをどんな順番で通過するかは自由です。ポイントは道にあるとは限りません。山の中に置かれる場合もあります。

▶ 地図

縮尺:1:26,000 等高線間隔 10m 国土地理院電子地形図 1:25000を縮小し、情報を追加修正。サイズは約 43cm×70cm の予定。耐水紙印刷(概ね登山地図のような感触)ですが、濡れた状態で擦ると色落ちする可能性があります(汗によるぬれも同等)。表面保護用の OPP(ポリプロピレン)シート(商品名クリスタルパック)とスプレアのり(55)を用意してあります。また透明粘着テープを表面に張る方法での対処もお勧めします(補強用の透明粘着テープはご自身でご用意下さい)。

▶ 競技エリア概要

東西は、富士山西麓側の標高 1100m 付近から天子山地稜線まで。北は本栖湖付近から白糸の滝付近まで。競技エリアの東部分には富士山麓の財産区などからなる広大な森が広がっています。森の中は溶岩が作り出した大きな沢(谷・川)や細かな微地形が存在しています。これらのエリアでは、地形読みも含んだナビゲーションスキルを要求するポイントが設定されています。

競技エリアの西部分は天子山地です。急峻でいかにも日本的な山岳地形が広がっています。ナビゲーション自体はさほど難しくありませんが、体力的要求は高くなります。急峻な中腹にはポイントはあまりありませんが、稜線や山腹では、等高線読みが必要なポイントも用意されています。

富士山麓と天子山塊に挟まれたエリアには牧場や集落が広がっています。朝霧高原や田貫湖、白糸の滝など有名な観光地のほかに、富士信仰やこの地で繰り広げられた歴史を振り返ることができる史跡、酪農施設や観光スポット、グルメスポットも多く存在しています。

▶ チェックポイントと得点計算

全部で約 80 カ所(予定)。チェックポイント(CP)での通過証明は写真方式と SI と呼ばれる電子チップ方式を併用します。その比率は概ね 3:1 です。

- 写真方式のポイントは青の円、電子カード方式のポイントは紫の円で示されています。各 CP は円の中心にあります。
- 各 CP の得点は地図に描かれた CP 番号の1の位を切り捨てた数です(35 番なら 30 点、115 番なら 110 点)。ただし一桁の番号はすべて 5 点です(1 番も 9 番も 5 点)。
- 写真方式の CP 写真と解説、電子カード方式の CP 位置説明を記載した一覧表を一人 1 枚別途用意します(A3 サイズ。封入用のポリ袋は大会側で用意します)。
- 写真方式 CP では一覧表で示された写真と同じアングルの写真を撮影してください。その際、可能な限り撮影者以外のメンバーを写し込んでください。それが通過証明となります。
- 電子カード方式 CP には目印(オリエンテーリングフラッグ)と機器(ステーション)が設置されています。受付時に各チームへ配布する SI チップをステーションの穴に差し込んでください。機器が赤く光り、「ピツ」という電子音が鳴ったらカードに記録が残ります。
- 制限時間を超えた場合、1 分につき 100 点が減点されます。30 分をオーバーした場合は失格です。得点が多いチームから順位がつきます。同点の場合には先にフィニッシュしたチームが上位で

す。

- 競技エリア内には特別なレスキューポイントを設置しません。トラブルがあった場合は地図に記載している緊急連絡先へ連絡してください。
- コンビニ・商店・自販機等の利用は可能です。コンビニの場所は地図にも示してあります。

■ ルール(競技中の注意事項)

ロゲイニング大会は他人の土地も含んだ場所で行われるアウトドアスポーツです。今後も地元から気持ちよく受け入れてもらえるため、以下の注意点をお守りください。注意事項が守られないことが確認された場合、失格にする場合もあります。

▶ 競技上のルール

- 徒歩以外の移動手段を利用することはできません。
- 制限時間までに会場へお戻りください。
- なお、西側の天子山地稜線付近(緑の破線で囲ってある)では、安全のため 19 時以降の CP 到達を認めません(フラッグ、フォトを問わず)。フラッグでは電子カードの記録で、フォトでは写真撮影時刻で判定します。スタート前にオフィシャル時計の写真を撮ってください。
- チーム行動: チームは必ず一緒に行動してください。30m 以上離れて競技していることを役員が発見した場合は失格になることがあります。チェックポイントは必ずメンバー全員で行ってください。
- トイレは極力公衆トイレやコンビニのトイレをご利用下さい。公衆トイレは地図に示してあります。

▶ 必須装備

競技中の服装・装備については以下の必須装備を定めます。必須装備は受付にて確認します。必須以外の装備については、気候と天候を考慮の上、12 時間(6時間)の自然の中での行動にふさわしいものをご用意ください。

- コンパス、デジタルカメラ(またはカメラ付き携帯)、携帯電話(十分充電し、12 時間の競技中確実に使えるもの)、雨具、ファーストエイドキット(テーピングテープ、ばんそうこうを必ず含む)、熊鈴、サバイバルシート、ヘッドライト、行動食・飲料。

▶ 地域・自然への配慮

- 競技中にゴミを捨てないでください。また、火気の使用についても禁止します。
- 動植物や岩石その他の採集を禁じます。また山間部のトレイルでは、トレイル外に CP がある場合を除いて、むやみにトレイルを外れたり、複線化を招くような通行方法はおやめください。

▶ 他者への配慮

- 地図上で示された立入禁止区域へは侵入しないでください。また地図上に立入禁止表示がない場合でも牧草地(草原)・田畑・工場・民家への立入は禁止です。森との境界がルートになることもあります。必ず森の中を通行してください。
- 一般の方へ迷惑をかけないようにしてください。また地元の人やハイカーに会ったら挨拶をお願いします。地元の方からのクレームがあったばあい、主催者への電話連絡をお願いします。
- 競技中、救助を必要とするチームを発見した場合、その救助を優先させてください。

▶ 安全への配慮

- 交通には十分注意し、交通法規を守ってご利用ください。

- 国道 139 号線は指定された箇所で横断してください。また通行禁止の区間もあります。
- 自己の体調には十分留意し、決して無理をしないでください。

■ 表彰・成績等

22:00 を予定しています。(6 時間の部で早めに帰られる方には、事前に賞品をお渡しします)。

表彰は各クラス別に上位 3 チームです。賞状とともに、スポンサー様からの賞品等を贈呈します。

成績表は Web (<http://www.m-nop.com/>)にて後日発表します。

■ 施設の利用について

☆朝霧野外活動センターは社会教育施設です。節度ある利用をお願いいたします。

▶ 【着替え・荷物につて】

- 荷物置場・着替え場所は、男性:スケート場(体育館棟1階)、女性:研修室(本館棟2階)となります。どちらも施錠は行いません。

▶ 【宿泊室について】

- 男女別の相部屋となります。家族の方は、同じ部屋です。
- 宿泊室の清掃、片付けは各自行ってください。
- 5月27日(金)のみ宿泊される方は、競技スタートまでに宿泊室から荷物を移動してください。
- 宿泊室での飲食・喫煙はできません。
 - 全館禁煙です。屋外の指定場所にてお願いいたします。
 - お部屋で煙草を吸われた場合、クリーニング代等実費を徴収いたします。
- 宿泊室の施錠はできません。貴重品は各自で管理してください。
- 安全管理上、夜 22 時から明朝6時までには全館施錠いたします。
- ゴミは全てお持ち帰りください。

▶ 【入浴について】

- 入浴時間は5月27日(金)19:00~22:00まで、28日(土)16:00~22:00までです。備えつけのリンス in シャンプーとボディソープがあります。

▶ 【食事について】

- 食事は事前の申込者のみ提供しています。食事場所として、食堂を開放しています。お湯の提供はありますが、電子レンジは利用できません。

▶ 【周辺案内】

- 国道 139 号線から朝霧野外活動センターへの入り口から北へ約 500m、および南へ約 1.5km のところに各コンビニがあります。
- その他大量の食料品を購入できるスーパーは近隣にはありません。

■ その他

- レクリエーション傷害保険には加入しておりますが、額に限度もございます。レース中の事故につきましては、応急処置、救急機関への連絡は行いますが、主催者側はそれ以外の責任は負いませんので、各自十分注意してください。当日は健康保険証を持参してください。

- 競技続行が不可能と判断された参加者は、スタッフが競技を中止させる場合があります。
- 大会会場、競技エリア内は禁煙です。
- レース前、あるいは途中でも、天候の悪化などで主催者の判断で競技を中止することがあります。また、開催時間を短縮したり、予定した競技エリアを縮小することがあります。その場合でも参加料は返金しません、ご了承ください。
- 朝霧野外活動センターへの事前の荷物の送付はご遠慮ください。
- 行き帰りの交通にもご注意ください。特にレース後は疲労によって集中力が低下します。お車の運転等は余裕をもち、こまめに休憩を取りながら気をつけてお帰りください。

■ ナヴィゲーション反省会 5月30日(日)午前 10:00~12:00

- ▶ 前日のロゲイニングの作戦の振り返り、ナヴィゲーション上の Q&A をコースプランナーの村越真・小泉成行とともに行います。ご自身のナヴィゲーションスキルやロゲイニング戦略をもう一步ブラッシュアップしたいあなたにぜひ(参加費 1000 円)



(2014年大会風景より)

